

(1) 対象学年・活用できる教科単元(例)

学年	教科書	大単元	小単元
小5・6	開隆堂	消費生活・環境	1.物やお金の使い方を考えよう 2.買い物の仕方を考えよう 3.これからの生活に生かそう
	東京書籍	持続可能な社会へ 物やお金の使い方	(1) よりよく選ぶために考えよう (2) 買い物について考えよう
中2	開隆堂	消費生活・環境	1.家庭生活と消費 2.購入・支払いと生活情報
	東京書籍	金銭の管理と購入	・購入方法や支払い方法の特徴 ・計画的な金銭の管理

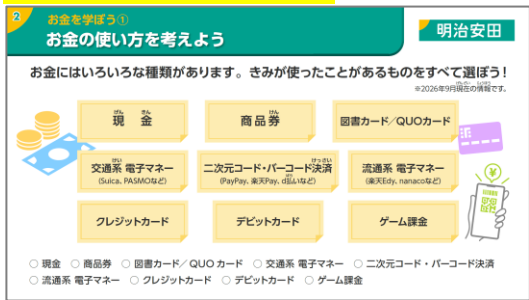
そのほか、「総合的な学習の時間」や「道徳」、中学3年生の社会科（公民分野）の「現代社会を捉える枠組み」「市場の働きと経済」などで部分的に抜粋してご活用いただくことも可能です。

また、中学生では、校外学習における班行動を計画する際の練習としてもご活用ください。

(2) ねらい

- ・お金には限りがあることやお金の大切さを理解する
- ・お金を使う際に、必要なものと欲しいものを分けて、優先順位をつけて使うことを理解する
- ・必要性を考えて計画を立て、それに沿ったお金の使い方を考えることができる
- ・お金の使い方について自分なりの考え方をもち、意思決定する態度を身につける

(3) 本時の展開 ※小学校では45分、中学校では50分を目安にご活用ください。

	学習活動（主な発問と予想される児童・生徒の様子）	指導上の留意点・カード活用
導入	1. お金にはいろいろな種類があることを知る。 使ったことがあるものをすべて選択してもらおう。 【選択肢集計】スライド2  クラスの集計結果から考える。 ・現金だけではなく、現金以外にもいろいろなお金があることがわかるね	普段の生活の中でどんな「お金」を使ったことがあるかを考え、自分ごととして捉えられるように導く。 【オクリンプラス操作】 ●子どもたちがワークするためのカードはあらかじめ配布しておき、説明用のスライドは先生がモニター等に映して説明することをおすすめします。 ●今回の授業では班ごとのグループワークを行うため、あらかじめ「みんなのボード」に「1班」「2班」など、班ごとのボードを作成しておくとうよいです。

・電子マネーを使ったことがある人はどんな場面で使ったことがあるのかな など

同じ「お金」でも、前払い・即時払い・後払いと、種類によって支払うタイミングが異なることを知る。



下記は先生向けの補足です。

■少額後払い決済サービス (BNPL: Buy Now Pay Later) について

あと払いペイディ、NP 後払い、atone、GMO 後払い、後払い.com など、商品やサービスを先に受け取り、代金を翌月などにまとめてコンビニや口座引き落としで支払う決済方法があります。扱える金額が数千円から 5 万円程度の少額であり、クレジットカードのような審査がなくスマホアプリやメールアドレスだけで簡単に未成年者も利用できてしまうため、子どもの支払い能力を超える使いすぎの問題が起きている。

●ワークカード (スライド 7~10) を、あらかじめ各班のボードに配布しておくワークがスムーズです。

●スライド 2 の「選択肢集計」のカードはクラス全員に送付し、選択肢を入れたら「みんなのボード」に送ってもらいます。

「みんなのボード」左上の集計ボタンから「選択肢集計」を押すとグラフ化されます。

展開

2. 限られた予算の中で、お出かけプランを選び、予算の使い方を考える (グループワーク)

【グループワーク】スライド 5



予算は 1 人あたり 5,000 円。

班ごとに、まず A・B・C コースから行きたいコースを選ぶ (入場料・交通費がコースごとに異なる)。

<予想される児童・生徒の様子>

・せっかくだから一番楽しそうなコースにしたい

限られた予算の中で、何を大切にしてお金の使い方を考えればよいかを、グループワークを通して楽しく学ぶ。

【オクリンクプラス操作】

●A~C のコース別「まとめシート」(スライド 7~9 のいずれか) を選び、共同編集する

●スライド 10 の「買うもののカード」から選んで (必要に応じて、自由に記入できるカードに記入して) コース別の「まとめシート」に貼り、予算内におさまるように 1 人あたりが使う金額をまとめる。

●班ごとにまとめたシートの内容をモ

- ・交通費や入場料が高いから、別のコースのほうがお金を自由に使える
- ・みんなの意見が分かれてなかなか決まらない
- ・「行きたい気持ちを優先する児童」と「予算を重視する児童」の意見が出る

【コース別まとめシート】スライド 7～9

お金を学ぼう①
お金の使い方を考えよう

明治安田

A テーマパーク

●入場料 2,500 円
●交通費(往復) 1,000 円
●昼食代 円
●合計金額 円

●買うもの(お金を使うもの)

スライド10から、「買うものカード」を選んでここに貼ろう。

コースが決まったら、決めたコースにあわせたまとめシート（スライド 7～9 のいずれか）を使用して、まとめていく。

【買うものカード】スライド 10

10 お金を学ぼう①
お金の使い方を考えよう

明治安田

買うものカード スライド7～9のコース別カードに、下からカードを選んで貼ろう。

アイスクリーム 300 円	期間限定スイーツ 600 円	キーホルダー 500 円	自由に書こう ●●●円
ポップコーン 300 円	季節限定ドリンク 600 円	ポストカード 150 円	自由に書こう ●●●円
クレープ 450 円	めいぐるみ(小) 800 円	限定ガチャガチャ 300 円	自由に書こう ●●●円
飲み物(ペットボトル) 150 円	めいぐるみ(大) 1,500 円	ゲーム 1 回 200 円	自由に書こう ●●●円

スライド 10 にさまざまな商品カードと、班ごとに自由に記入できるカードを用意しているので、予算内におさまるように選び、コース別まとめシートに貼って、1人あたりが使う金額をまとめる。

まとめ終わったら班ごとに発表する。

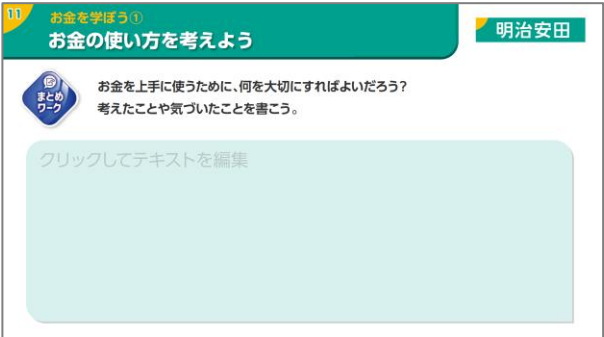
<予想される児童・生徒の様子>

- ・お菓子やお土産など欲しいものを多く選ばうとする
- が予算オーバーに気づいて入れ替えをする
- ・班員同士で使いたいお金の使い方が異なり、話し合いが生まれる
- ・予算内に収めるために、自分の希望を調整する様子が見られる
- ・商品カードだけでなく自由記入カードを活用し、自分たちなりの計画を立てる

声かけ例：

まず必要なものと欲しいものを分けて考えよう

ニター等に映して共有し、工夫したポイントや、決める時に悩んだこと、大事にしたことなどを発表する。

	班ごとのプランから、他班との違いやそれぞれが重視したポイントを知り、多様なお金の使い方があることを理解する。 ・プランを考える時に重視したポイントは何か ・予算内におさめるために工夫したところはどこか ・お金の使い方はどんなふうに決めたか (必要な支出を先に決めた、など)	
終末	<u>3. お金を上手に使うために何を大切にすればよいかを考える。</u> 振り返りカード（スライド 11）に記入して、「提出 BOX」に提出する。 【振り返りカード】スライド 11  時間があれば、何人かの意見を共有する。 <予想される児童・生徒の意見例> ・必要なものから先に買うことが大切だと思った。 ・ほしいものばかり買わないことが大切だと思った。 ・みんなで相談して決めることも大切だと思った。 など <u>4. お金を使う時に大切にすべきことをまとめる</u> 【まとめ】スライド 12  ・「必要なもの」と「ほしいもの」に分けること ・「優先順位」をつけること	授業を通して、お金の使い方について気づいたことを振り返り、まとめる。 【オクリンクプラス操作】 ●スライド 11 の「振り返りカード」に各自記入し、「提出 BOX」に提出してもらう。 ●（時間があれば） 「提出 BOX」に提出された振り返りカードの中から、先生がいくつか意見をピックアップしてクラスに共有し、問いかけを行う。 ●まとめ（スライド 12）をモニター等に映して共有。 お金を使う時に大切にすべき考え方を説明してまとめる。